

アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA は、高度なメディアテクノロジーを背景に論理的な思考と芸術的感性との融合を標榜し、さらにアジアの文化風土に深く根差した世界レベルのメディアアート作品の公募展です。今年もまた多くのクリエイターの参加をお待ちしております。



募集概要



カテゴリ

一般

優れた技能と高い芸術性を持つプロフェッショナルクリエイターを目指す方々を対象とします。法人、学生の方もご応募頂けます。

学生

デジタルアートに興味のある方、スキルアップを図る学生のためのエントリーコースです。高校生以下の方の作品も募集します。サークルなどのグループによる応募も可能です。

部門

一般、学生共通

静止画部門

コンピュータ・グラフィックス、画像処理等により制作された静止画像作品を募集します。

動画部門

コンピュータ・グラフィックス、動画画像処理、その他のデジタルテクノロジーを用いて制作されたアニメーション等の動画作品を募集します。

インタラクティブアート部門

メディアテクノロジーを応用し、インタラクティブ性を組み入れた作品を対象とします。パフォーミングアートやインスタレーション作品など「人間とマシン」、「人間と人間」といった相互の関係性に注目した芸術作品を募集します。

エンターテインメント（産業応用）部門

ゲーム、スマートフォンアプリ、CM・プロモーション映像など産業応用を目的として制作及び試作された作品を募集します。

審査員

審査員長 河口 洋一郎（東京大学名誉教授／アーティスト／霧島アートの森館長／一般社団法人デジタルコンテンツ協会 DCAJ 会長）

中谷 日出（東京国際工科専門職大学教授）

中島 信也（(株)東北新社エグゼクティブクリエイティブディレクター／武蔵野美術大学客員教授）

中尾 智路（福岡アジア美術館学芸員）

牧 奈歩美（東京藝術大学大学院映像研究科講師）

中村 俊介（株式会社しくみデザイン代表）

明貫 紘子（映像ワークショップ合同会社社長／メディアアート研究者）

高山 穰（武蔵野美術大学教授）

Haipeng Mi（清華大学准教授：中国）

Janaka Rajapakse（国立台南芸術大学准教授：台湾）

第一次審査、本審査を経て各賞を選定します。なお、審査は提出された登録情報、および作品データのみを用いて実施します。

賞

アジアデジタルアート大賞（カテゴリー[一般][学生]全部門から最も優れた作品1点）

公益財団法人 柿原科学技術研究財団から**奨励金(50万円)**を授与



大賞（アジアデジタルアート大賞に選ばれた部門を除く一般カテゴリー、学生カテゴリーの各部門からそれぞれ1点）

— **文部科学大臣賞** … カテゴリー[一般][学生]静止画部門大賞・動画部門大賞の中から1点

— **総務大臣賞** … カテゴリー[一般][学生]インタラクティブアート部門大賞のどちらか1点

— **経済産業大臣賞** … カテゴリー[一般][学生]エンターテインメント（産業応用）部門大賞のどちらか1点

— 学生カテゴリー：全部門の大賞に次世代育成支援として公益財団法人 柿原科学技術研究財団から**奨励金(5万円)**を授与

優秀賞（一般、学生カテゴリー各部門からそれぞれ2点）

入賞（全部門の中から若干数）

福岡県知事賞（全部門の中から1点）… カテゴリー[一般][学生]全部門からデジタル技術の面で先進性や優位性を有しデジタル産業の今後の発展に資する作品1点に授与

福岡市長賞（全部門の中から1点）… カテゴリー[一般][学生]全部門から福岡市に勤務・通学または在住の作者が制作した優れた作品1点に授与

展覧会

福岡市美術館 2023.3.8(水)～3.12(日)

受賞作品は「2022 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」受賞作品展にて展示します。

表彰式は2023.3.11(土)に行います。アジアの交流拠点でもある福岡から様々な人へ作品を発信してください。



<https://adaa.jp>

お問い合わせ

〒815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1 九州大学大学院芸術工学研究院内 アジアデジタルアート大賞展実行委員会事務局 Email: adaa@design.kyushu-u.ac.jp